栗山高等学校　１年「栗山と福祉」

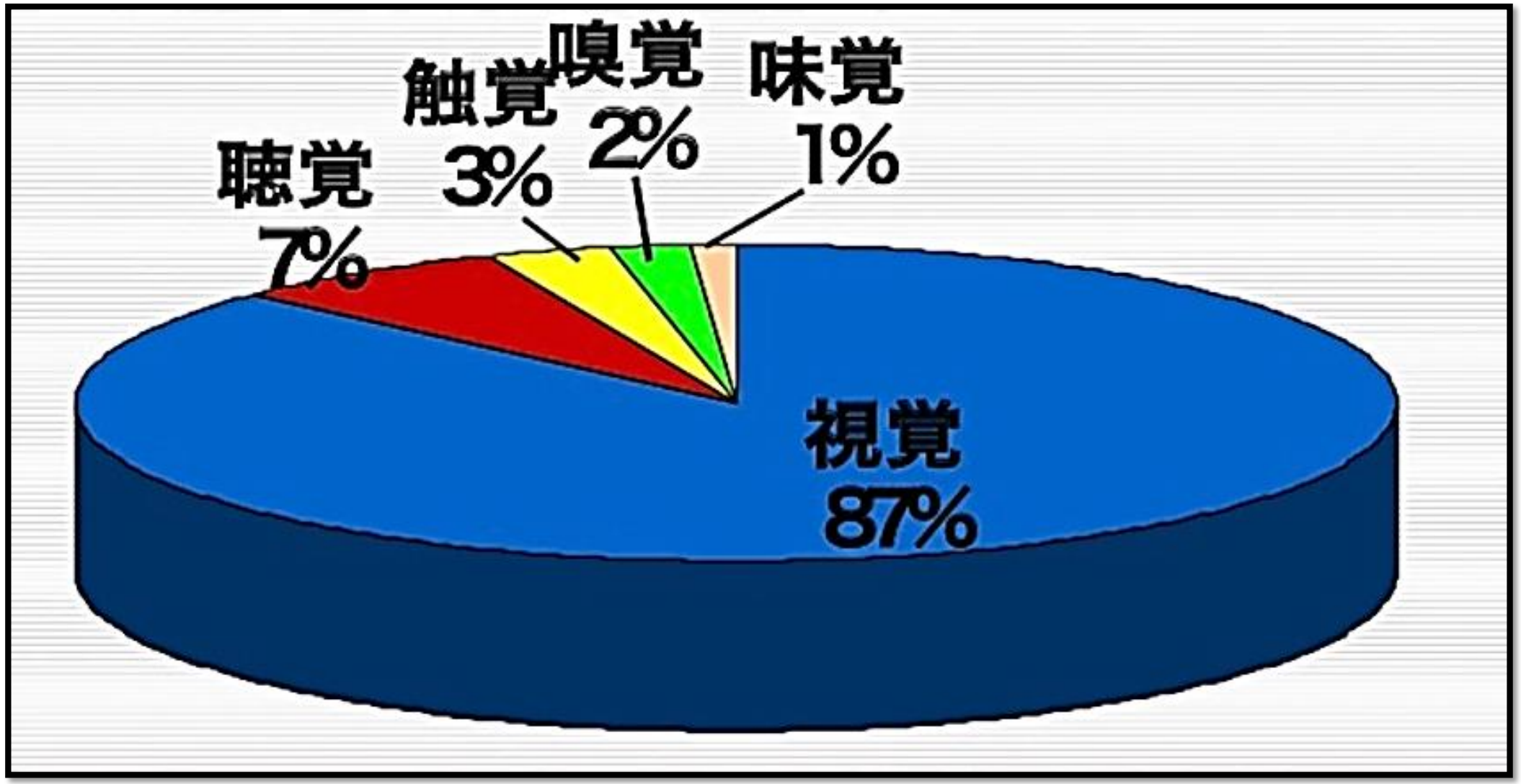
～視覚に障害のある人を理解するために～

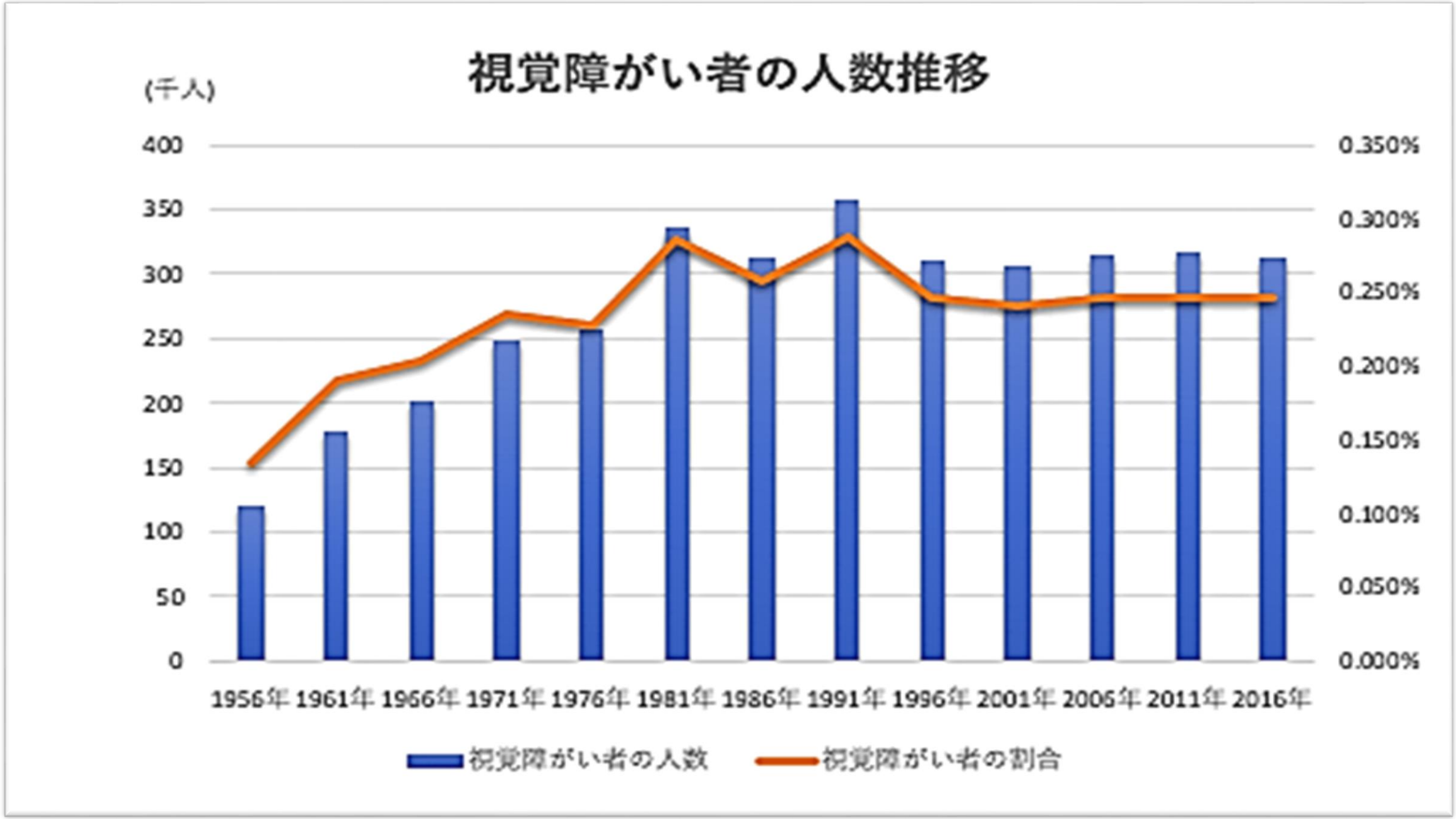
令和 6年 10月 31日（木）　１３：２０　～　１５：１０

栗山町立　北海道介護福祉学校　　担当：藤田 ・ 梶

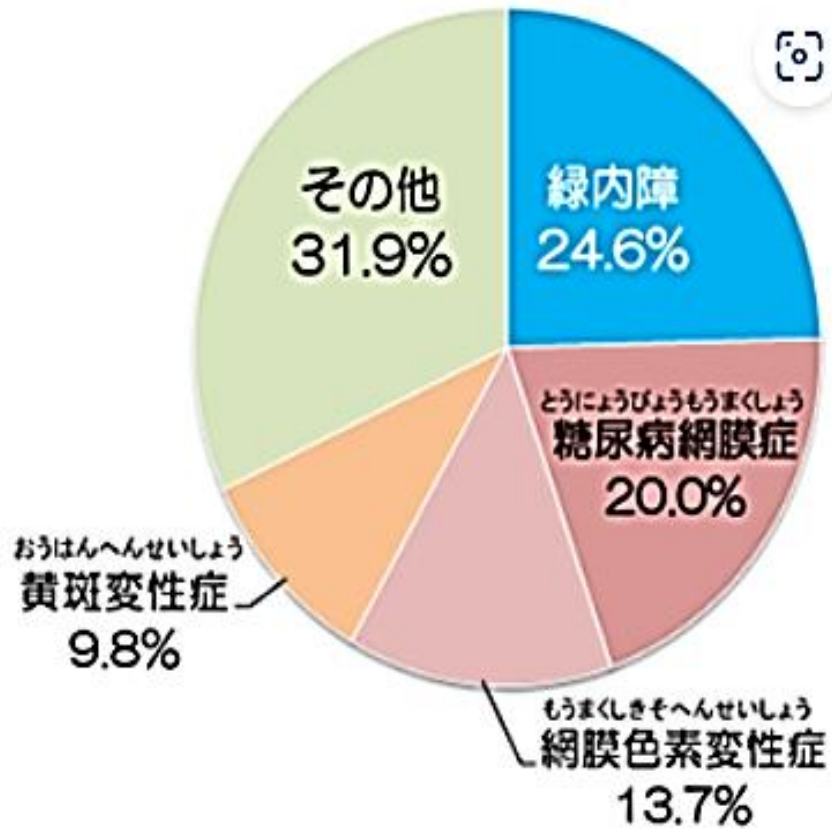
組　　番　生徒氏名

人間の五感における知覚の割合



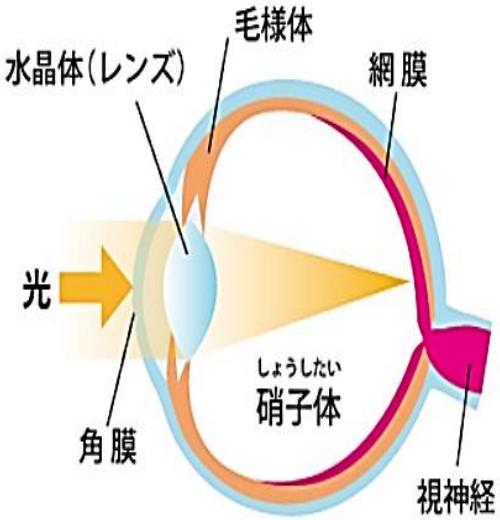

視覚障がい者の人数推移
(千人)
400
350
300
250
200
150
100
50
0
0.350%
0.300%
0.250%
0.200%
0.150%
0.100%
0.050%
0.000%
1956年 1961年 1966年 1971年 1976年 1981年 1986年 1991年 1996年 2001年 2006年 2011年 2016年
視覚障がい者の人数
視覚障がい者の割合

視覚障害の原因疾患



データの出典：厚生労働科学研究費補助金
疾病・障害対策研究分野 難治性疾患克服研究
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究「我が国における視覚障害の現状」（平成17年度）

目の構造と見え方の変化

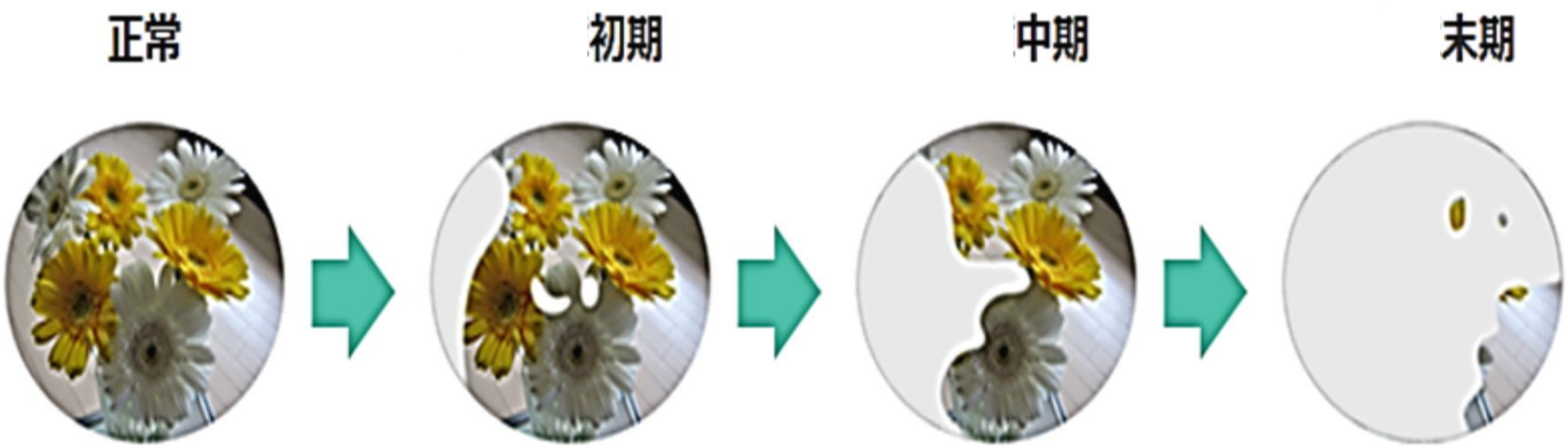


【角　膜】　黒目の部分を覆う透明な膜
【水晶体】　光を屈折させ、厚みを変えることでピントを調節する
【硝子体】　透明なゼリー状。光を通す
【網　膜】　光の受容器で最内層にあり、情報を電気信号に変える
【視神経】　電気信号に変えられた情報を脳に伝える
【毛様体】　水晶体の厚さの調節、房水の排出を行なう

この見え方は、何の病気でしょうか？①

白内障：目のかすみ・色彩の変化・複視・羞明感

この見え方は、何の病気でしょうか？②



※灰色部分は実際には霞がかかった様に視野から欠けます。

緑内障：視野狭窄・眼痛・失明に繋がる

この見え方は、何の病気でしょうか？③

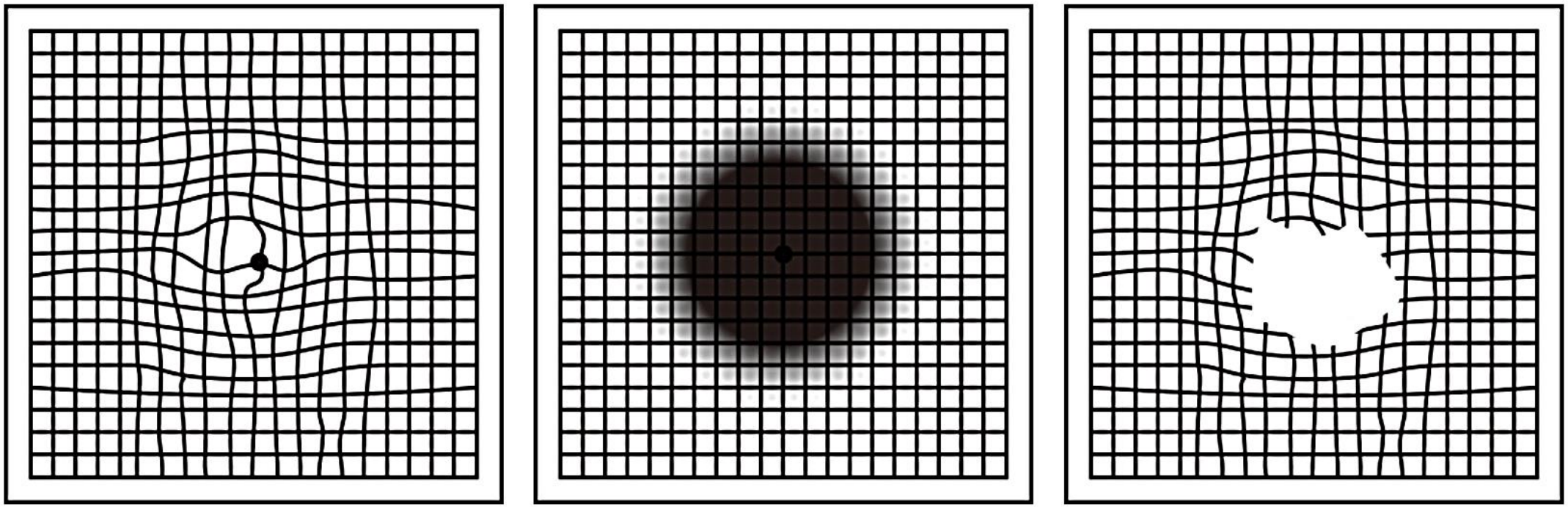
正常な見え方

ゆがんで見える

中心が暗く見える

ぼやけて見える

加齢黄斑変性症



歪む　　中心が見えない　　真ん中が欠ける

アムスラーチャートで簡易検査が可能

考えてみましょう！

1．見えにくいことで、どのような気持ちになるか？

2．見えにくいことで、生活の中でどのような影響があるか？

3．目の健康を保つためにはどのようことが必要か？

他者の意見

演習Ⅰ　手引き歩行（ガイドヘルプ）

【　ガイドヘルプの基本的ルール　】

① 利用者の正面から声をかける

② 手の甲で合図をし、斜め前に立ち、肘をつかんでもらう

③ 狭いところは肘を曲げる

④ 動くとき、曲がるときは状況をわかりやすく説明する

⑤ 障害物の前には一旦停止する。

⑥ いすやテーブル等には、実際に手で触れてもらう

⑦ 階段では、手すりにつかまり歩いてもらう

演習Ⅱ　白杖（盲人安全つえ）を使って歩いてみましょう

白杖の３つの機能

①　情報　　②　安全　　③　シンボル

白杖を使って歩いてみた感想

体験で気づいたこと

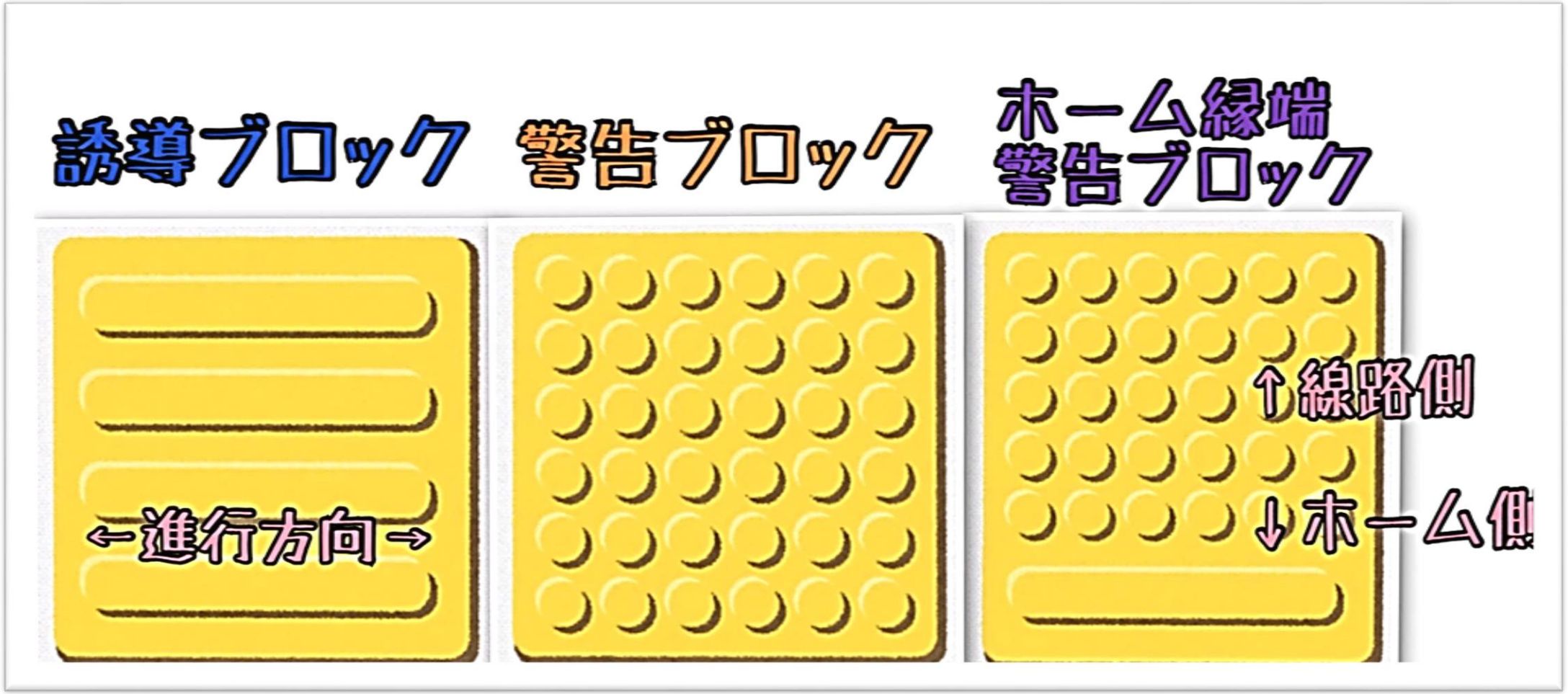
【視覚障がい者の立場で】

【ガイドヘルプを行ってみて】

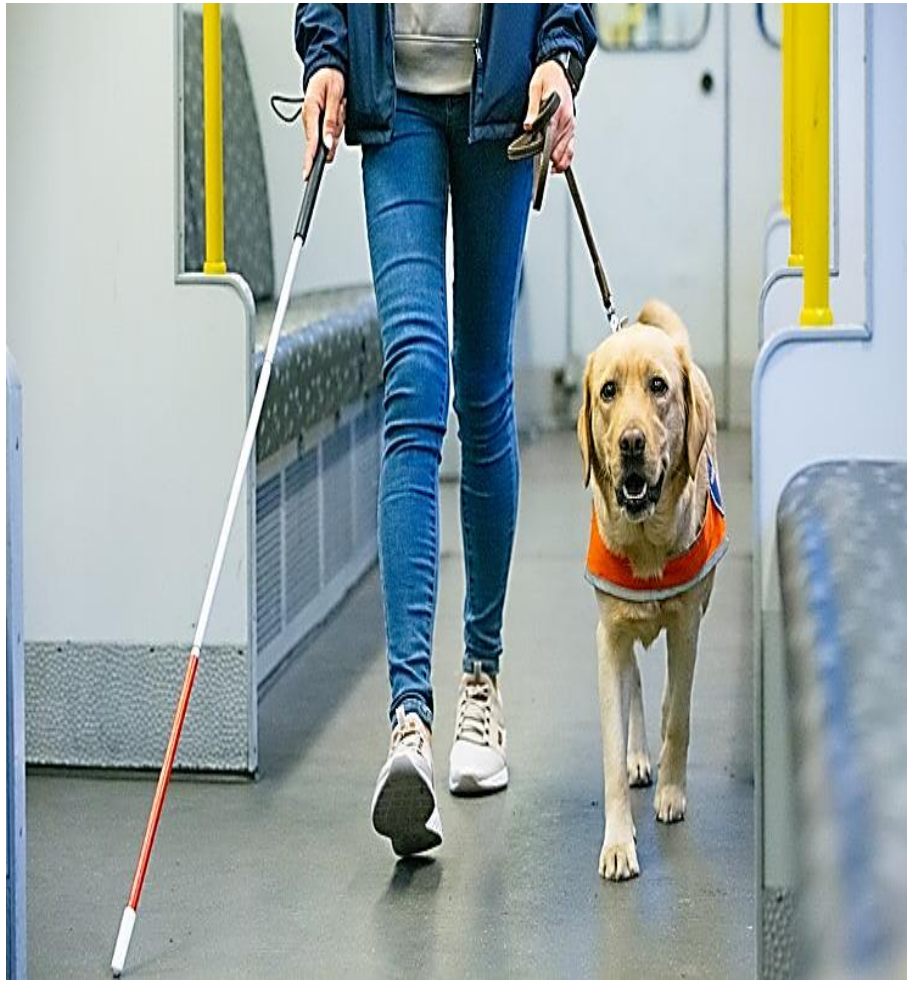
私たちが心がけるべき目の健康は？

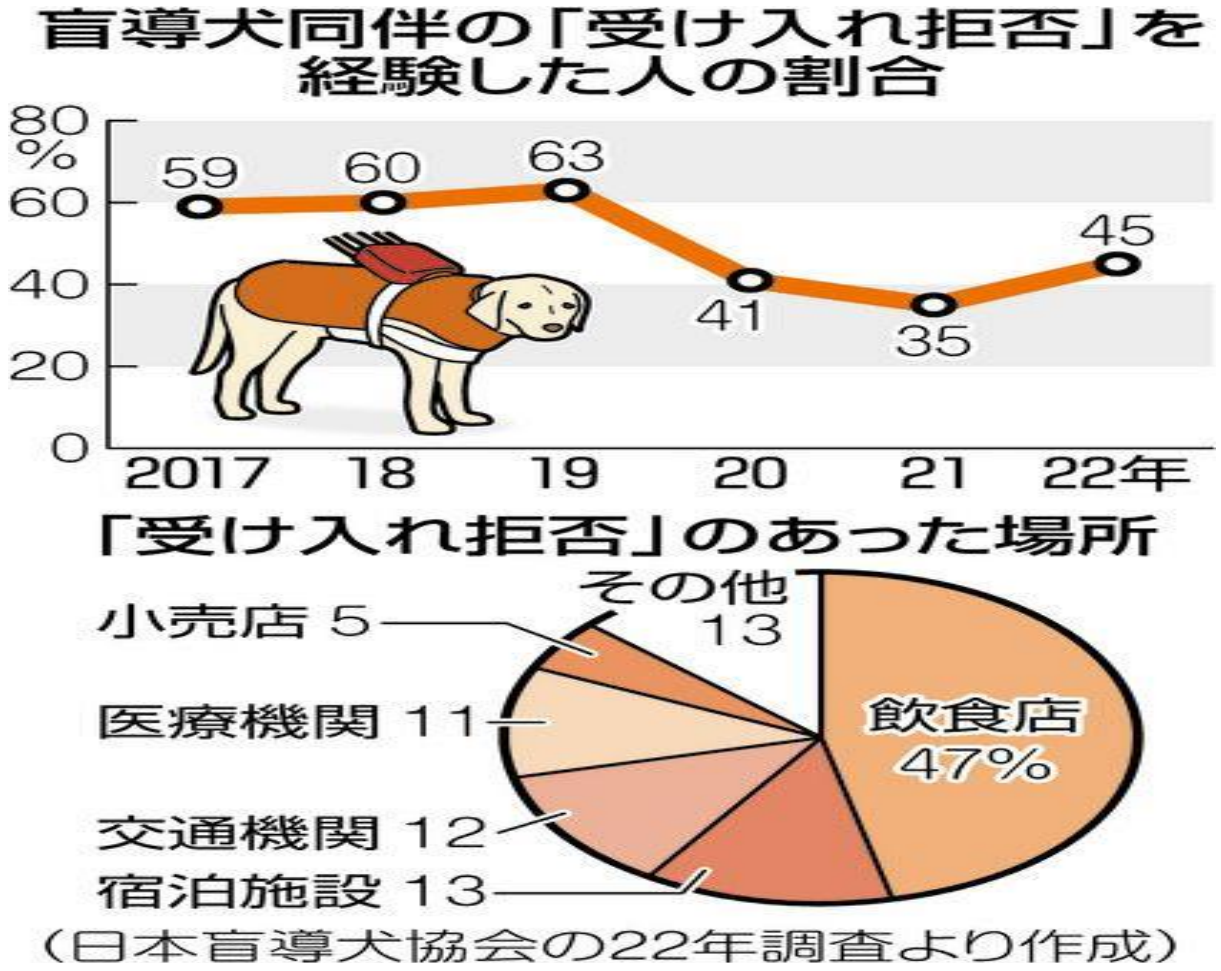
- 目を休ませる　→　夜のスマホを控える
  目を温める
- ビタミン、DHAのある食事を摂る
- ブルーライトカットをする

生活の中で必要なこと・理解すべきこと①

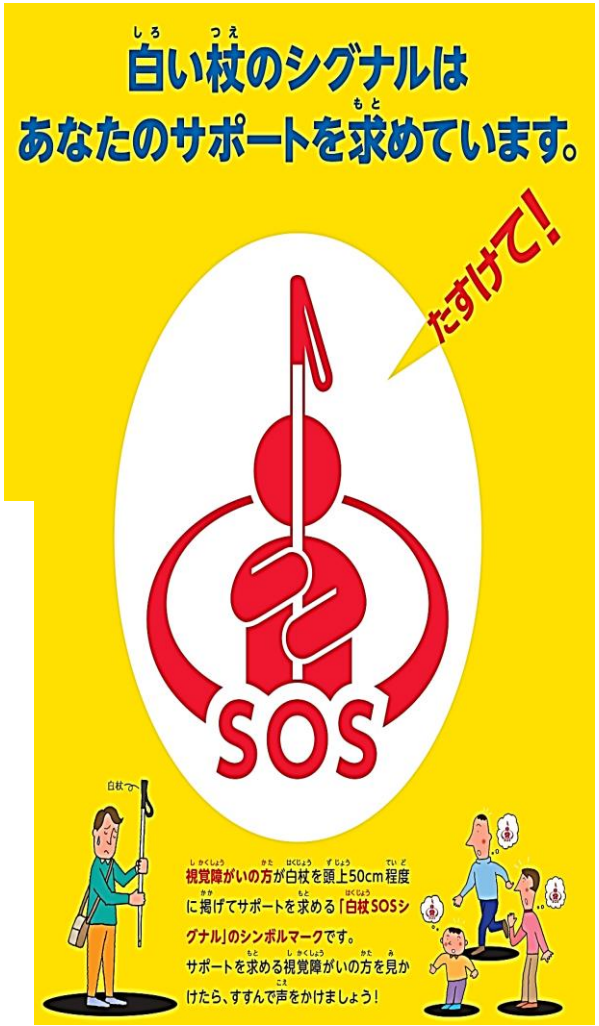


生活の中で必要なこと・理解すべきこと②





生活の中で必要なこと・理解すべきこと③



盲人のための国際シンボルマーク

所管：社会福祉法人日本盲人福祉委員会

視覚障害者の安全やバリアフリーを考慮した建物・設備・機器に表示する世界共通のマークです。

国際シンボルマーク

本日の授業を通してわかったこと